

学校法人 兵庫医科大学
平成 27 年度 事業報告

I. 法人の概要

1. 沿革（平成 25 年度～27 年度の 3 年間の抜粋）

平成 25 年	3 月	兵庫医療大学	大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	5 月	兵庫医科大学	ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター	日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG : Ver. 1.0 一般病院 1）の認定
平成 26 年	3 月	兵庫医療大学	オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学	研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる。
平成 27 年	3 月	兵庫医科大学	健康医学クリニック完成
平成 27 年	4 月	兵庫医科大学	社学連携推進機構設置
平成 28 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター	開設
平成 28 年	2 月	兵庫医科大学病院	日本医療機能評価機構より病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）の認定

2. 設置する学校・学部・学科等（平成 27 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	平成 27 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長：中西憲司) 昭和 47 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	43	240	182
	医学部 医学科	112	112	664	696
兵庫医療大学 (学長：馬場明道) 平成 19 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	3	9	8
	大学院 看護学研究科	8	8	16	18
	大学院 医療科学研究科	8	8	16	17
	薬学部 医療薬学科	150	153	900	904
	看護学部 看護学科	100	104	400	414
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	46	160	175
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	44	160	194

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス 兵庫県西宮市武庫川町1番1号（〒663-8501）
兵庫医科大学 医学部 医学科
大学院 医学研究科
兵庫医科大学病院

篠山キャンパス 兵庫県篠山市黒岡5番地（〒669-2321）
兵庫医科大学 ささやま医療センター
兵庫県篠山市黒岡36番地（〒669-2321）
兵庫医科大学 ささやま老人保健施設
ささやま居宅サービスセンター

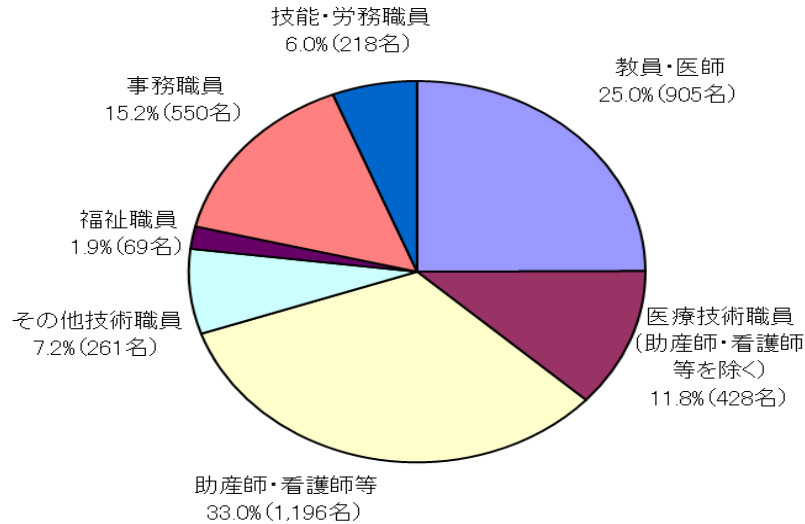
神戸キャンパス 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6（〒650-8530）
兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科
看護学部 看護学科
リハビリテーション学部 理学療法学科
作業療法学科
大学院 薬学研究科
大学院 看護学研究科
大学院 医療科学研究科

4. 役員・評議員・教職員の概要

- (1) 役員（平成28年3月31日現在）
理事【定員 17～19名・現員 18名】（常勤 13名、非常勤 5名）
監事【定員 2～3名・現員 3名】（常勤 1名、非常勤 2名）
- (2) 評議員（平成28年3月31日現在）
【定員 38～42名・現員 40名】

5. 教職員数（職種別：平成 28 年 3 月 31 日現在）

職種別職員構成比(平成28年3月31日現在)



II. 事業の概要

《法人》

○ 中長期収支・財務シミュレーションの策定

- ・今後の収支状況の推移を予測し、将来計画を実現可能なものとするため、10年間の収支・財務シミュレーションを策定した。これに基づき10年後に新病院棟を建設することを明確な目標として定め、財務基盤安定のための課題を解決していくことになった。

○ 収支・財務シミュレーションに基づく、適正予算の編成

- ・9月に策定した10年間の収支・財務シミュレーションに基づき、平成28年度の目標収支差額を予算編成のガイドラインとして定め、予算編成を実施した。

○ 第2次中期事業計画に基づく年次事業計画の策定・進捗管理

- ・第2次中期事業計画、将来計画に基づき、平成28年度事業計画の個別事業の策定を行なった。
- ・平成27年度事業計画については、月次の進捗状況をメールで確認するとともに、上半期、年度末の進捗確認を書面で実施し、理事会に報告した。

○ 広報室関係

- 1) 効果的な情報発信を行なうための情報発信媒体（トリプルメディア）の見直し及び運用確立
 - ・保護者・同窓生を中心とした学外向けの広報誌「学校法人兵庫医科大学広報」のリニューアル（コンテンツ・配布先・部数・頁数の見直し含む）、外来患者向けの病院情報誌「ここらいふ」の創刊、報道機関向けのニュースレター（月刊）の創刊や、ニュースリリースフォーマットの見直し、全ステイクホルダー対象の公式サイトの随時改善等、あらゆるオウンドメディアの見直しを実施した。

- 2) 他企業とのアライアンスによる地域貢献活動およびPR
 - ・昨年度からスタートした阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区）との地域貢献アライアンス施策として、平成27年度も以下のような沿線住民の健康増進に資する取り組みを継続して実施した。

- 3) 報道機関への積極的情報発信とパブリシティの獲得
 - ・兵庫医科大学および兵庫医療大学の教育・研究、並びに兵庫医科大学病院の診療に関して広く世の中にご理解をいただくため、定期的なニュースリリース・ニュースレターの配信（平成27年度実績47本 ※前年度比142%）をはじめ、研究発表記者会見の開催（計2回）、テレビ局や新聞社等からの取材対応、その他、報道機関を直接訪問しての案内などを行った。その結果、過去最高数のパブリシティを獲得することに成功した。

○ 学校法人兵庫医科大学無期契約雇用職員就業規則の制定

平成27年4月に兵庫医科大学無期契約雇用職員就業規則を定め、西宮キャンパスの看護助手、病棟事務員を対象として就業規則を適用し運用を進めようとしていたが、事務局の有期雇用職員も対象とするにあたって、3キャンパスを対象として運用することから、学校法人兵庫医科大学無期契約雇用職員就業規則を改めて制定し、事務局職員も対象として取扱要領も併せて制定した。これに基づき、平成28年4月から同就業規則を適用する看護助手・病棟事務員は102名、事務局職員は7名を対象として無期雇用となった。

○ マイナンバー制度の対応

マイナンバー制度（「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」）の導入に基づき、平成28年1月から個人番号の利用が開始され、国の制度として税、社会保障、災害の分野で利用が開始されることから、9月に3キャンパス各々で教職員を対象としてマイナンバーの説明会を開催し、内容の周知を図った。

続いて、準備態勢を構築し、給与関係は人事部、謝金関係は経理部を中心として準備を進め、11月度理事会で「学校法人兵庫医科大学 個人番号及び特定個人情報取扱規程」及び「特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針」の承認を得て、平成

28年1月からマイナンバーの収集を開始した。

○ **人事考課制度の見直し**

平成27年度から、事務局・コメディカル(看護師除く)・実験補助・技術員の正職員を対象として、新たな人事考課制度を導入したが、看護師については、ラダー教育制度と人事考課制度を1本化した新たな制度を構築した。

○ **補助金**

平成27年度 私立大学等経常費補助金について、下表のと通りの概算交付があった。
(金額単位:千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				平成26年度	平成25年度
兵庫医科大学	1,433,955	226,220	1,660,175	1,707,947	1,684,822
兵庫医療大学	422,644	47,106	469,750	403,915	462,466
合計	1,856,599	273,326	2,129,925	2,111,862	2,147,288

○ **募金**

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの申込み実績は次のとおりであった。
学校法人兵庫医科大学基金

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
24	6,400,000	319	21,500,000	343	27,900,000

(平成20年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金： 300件 64,455,000円
 特定公益増進法人： 1,278件 94,410,498円
 合計： 1,578件 158,865,498円

兵庫医科大学開学40周年記念事業募金

受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
9	16,380,000	59	13,642,235	68	30,022,235

(平成20年度開始からの累計申込み実績)

受配者指定寄付金： 196件 1,154,815,000円
 特定公益増進法人： 535件 310,212,140円
 合計： 731件 1,465,027,140円

○ **男女共同参画事業**

(1) 講演会

① 男女共同参画特別講演会

日時：平成27年9月28日(月) 午後5時30分～午後6時30分

場 所 : 兵庫医科大学 3-3 講義室
演 題 : しなやかな生き方・働き方
講 師 : 小島法律事務所 所長 小島 幸保 弁護士
目 的 : 男女共同参画に関する基本的な知識の習得と意識醸成
内 容 : 男女共同参画に関する社会の動きや現状と「活躍の場を広げるための生き方のヒント」を講師自身の体験を交えお話いただいた。
参加人数 : 132 名 (男性 55 名、女性 77 名)

② 男女共同参画 FD 講演会 (教務学生課と協働)

日 時 : 平成 27 年 9 月 17 日 (木) 午後 5 時 30 分～午後 6 時 30 分
場 所 : 兵庫医科大学 9-1 講義室
演 題 : 病院経営と男女共同参画
講 師 : 鳥取大学 理事・副学長 北野 博也 教授
目 的 : 男女共同参画に関する意識醸成
内 容 : 鳥取大学での取組事例を元に、組織の体制のあり方や病院経営との関係についてわかりやすくお話いただいた。
参加人数 : 89 名 (男性 53 名、女性 36 名)

(2) 病児保育室の開設

学校法人兵庫医科大学に所属する教職員の仕事と育児の両立を支援するため、平成 28 年 4 月 1 日に院内病児保育室「ゆりかご」(本院 1 号館 2 階) を開設した。

病児保育室とは、急な発熱など一般保育が困難な状態のこどもを一時的に預かり保育・看病する施設である。病児保育室ゆりかごでは、兵庫県認定業者であるファミリーエクラブ株式会社が施設派遣型病児保育を請け負い、本院の医師・看護師と連携のもと保育を行っている。

定員 : 2 名

対象 : 学校法人兵庫医科大学に所属する教職員の養育するこども (生後 6 ヶ月～小学校 3 年生)

現在登録人数 : 20 名 (女性 18 名、男性 2 名)

登録子供人数 : 23 名

(3) イベント

兵庫医科大学 男女共同参画推進室 × 男性看護師会 Brother's 共催企画
「男だらけのコメディカル座談会～職種を越えて語り合おう～」

日 時 : 平成 27 年 12 月 4 日 (金) 午後 5 時 30 分～午後 6 時 30 分

場 所 : 兵庫医科大学 第 5 会議室

対 象 : 兵庫医科大学病院に所属する男性看護師および男性コメディカル職員

目 的 : 部署横断的なネットワークの構築

① 家庭と仕事を両立しながらのキャリア形成について考えることができ

る

- ② 職種横断的なつながりを持ち相互理解を深めることによる、仕事の質の向上
- ③ 働き方変革意識の醸成
- ④ チームワークの形成

参加人数： 32名

(4) 女性活躍推進のための行動計画（人事部と協働）

女性活躍推進法の制定に伴い、平成28年4月1日より労働者301人以上の企業について、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが義務付けられた。それに伴い、厚生労働省から配布された行動計画策定方法に従い、状況分析および行動計画の策定を行った。

この行動計画については、兵庫県労働局への届出を行うとともに、本学の女性の活躍に関する情報と併せてホームページへの掲載により外部へ公表している。

計画期間： 平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）

課題： ① 採用における競争倍率、勤続年数に男女で大きな差はみられないが、事務職員において管理職に占める割合が低い。

② 事務職員において、女性が管理職を目指せる職場風土が整っていない。

目標： 女性管理職が少ない事務職において、管理職（課長級以上）の女性の人数を5人以上にする（現状の2.1%を10%まで引き上げる）

取組内容： ① 事務職の女性職員を対象として管理職育成を目的としたキャリアアップ研修の実施

② 育児休業、短時間勤務、有給休暇など福利制度の活用とノー残業デーなどワークライフバランスの推進

③ 女性活躍推進意識醸成のための講演会等の実施

(5) ワークショップ（人事部と協働）

事務局女性職員向けワークショップ

「あなたの『未来像』を描こう！～セルフリーダーシップを身に付ける～」

日時： 平成28年2月26日（金） 午前9時～午後4時

場所： 兵庫医科大学 第5会議室

対象： 事務局監督職以下の女性職員

目的： ① 自身をとりまく環境を理解し、キャリアにおける考え方を理解するとともに、実現する上で課題に感じていることを明確にする

② 前向きに成長するための自身の課題を検討し、自己成長のきっかけをみつける

(6) 産前・産後休暇、育児休業、介護休業などの各種制度の周知（人事部と協働）

人事部と協働し、学内ネットでの各種制度の手続方法のページを改善した。

《兵庫医科大学》

○ 平成 28 年度医学部入学試験

平成 28 年度の学生募集は、入学定員 112 名とし、一般公募制推薦入試、地域指定制推薦入試、特別選抜推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試（前期）及び大学入試センター試験利用入試（後期）を実施した。

1) 推薦入学試験

区分	一般公募	地域指定	特別選抜
出願者	59 名	46 名	1 名
合格者	10 名	5 名	1 名

2) 一般入学試験

区 分	人 数
出願者	1,815 名
第 1 次試験合格者	406 名
第 2 次試験合格者（正規）	86 名
補欠者	258 名

3) 大学入試センター試験利用入学試験（前期）

区 分	人 数
出 願 者	771 名
第 1 次試験合格者	272 名
第 2 次試験合格者（正規）	25 名
補 欠 者	76 名

4) 大学入試センター試験利用入学試験（後期）

区 分	人 数
出 願 者	75 名
第 1 次試験合格者	24 名
第 2 次試験合格者（正規）	3 名
補 欠 者	9 名

5) 入学者

区 分		人 数
入 学 者	一般公募制推薦入試	10名
	地域指定制推薦入試	5名
	特別選抜推薦入試	1名
	一般入試	80名
	センター試験利用入試（前期）	13名
	センター試験利用入試（後期）	3名
	合 計	112名

○ 研究医コース

研究医とは、大学や研究機関で基礎医学や臨床医学の研究に従事する医師であり、新たな治療法や病気の原因を突き止める研究など、未来の医学を支える重要な役割を担っており、近年、非常に注目されている。

本学では、その研究医を養成するコースを設け、平成28年度から実施する。

コースは、第3学年次を対象とした「研究の基礎を身に付ける研究医プレコース」と第4～第6学年次を対象とした「テーマを持って研究する研究医専門コース」からなり、募集を行った結果、以下のとおりの選考結果となった。

	応募者	決定者
プレコース希望（第2学年次）	7	4
専門コース希望（第3学年次）	6	6
計	13	10

○ 平成28年度大学院入学試験

入学試験は、前期募集については平成27年9月5日（土）に、後期募集については平成28年2月6日（土）に、外国語試験及び口述試験（面接）が実施され、合格者の発表は平成27年10月2日（金）及び平成28年3月11日（金）に行われた。

前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	17	12	4	1	0	0	0	0	0
受験者	16	12	3	1	0	0	0	0	0
合格者	16	12	3	1	0	0	0	0	0
入学者	16	12	3	1	0	0	0	0	0

後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	39	13	20	1	0	3	2	0	0
受験者	38	13	19	1	0	3	2	0	0
合格者	37	12	19	1	0	3	2	0	0
入学者	35	12	18	0	0	3	2	0	0

○ 医師国家試験

第 110 回医師国家試験

(1) 本学の状況

区分	新 卒			既 卒			計			
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
本年度	103	98	95.1	2	2	100	105	100	95.2	
(参考)	平成26年度	101	99	98.0	5	4	80.0	106	103	97.2
	平成25年度	101	99	98.0	13	10	76.9	114	109	95.6

(2) 全国状況 (合格率)

(%)

私立・全国別	新卒・既卒別	新 卒	既 卒	計
私立平均		94.2	64.7	91.6
全国平均		94.3	60.1	91.5

○ 国際交流

(1) 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定に基づき、本学における受け入れおよび汕頭大学医学院への派遣を実施した。本学では、平成 27 年 7 月 13 日 (月) から 8 月 7 日 (金) まで、汕頭大学医学院学生を 3 名受け入れ、胸部腫瘍学、病理学病院病理部門、内科学消化管科、上部消化管外科、血液内科、病理学分子病理部門において、各 2 週間ずつ計 4 週間の研修を行った。また、平成 28 年 1 月 9 日 (土) から 1 月 16 日 (土) まで、李嘉誠財団の支援を受け、本学第 2 学年次学生 6 名が汕頭大学第一附属病院、第二附属病院を訪問し、精神病センター、口唇口蓋裂センター、婦人科の見学や、ホスピス医の訪問診療への同行、農村貧困地域の医療ボランティアに参加した。

(2) 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定に基づき、平成 27 年 11 月 25 日 (水) 本学主催で第 9 回国際学術交流シンポジウムを行い、天津医科大学からは Hao Wang 教授、Yingmei Wang 教授を演者としてお招きし、本学からは産科婦人科の澤井英明教授、先端医学研究所 神経再生研究部門の松山知弘研究所教授が講演を行った。

(3) クロアチア共和国リエカ大学医学部との交換留学

クロアチア共和国リエカ大学医学部との学術交流に関する協定により、本学との大学間交換留学を実施した。

本学では、平成27年8月24日（月）から9月18日（金）まで、麻酔科・疼痛制御科、小児科、リハビリテーション部、産科婦人科においてリエカ大学学生3名を受け入れた。また、リエカ大学では、平成27年9月28日（月）から10月23日（金）まで、本学第5学年次学生3名を内科、産科婦人科において受入れていただき、4週間の病棟研修を行った。

(4) 米国・各大学間における学術交流

本学第6学年次学生が4週間の短期臨床研修として、アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校の呼吸器内科で1名、病理解剖部門で1名の計2名、またワシントン大学の放射線科及び内科で1名、さらに、ニュージャージー州・ロバートウッド・ジョンソンメディカルスクールの消化器内科、放射線科、内分泌科、家庭医療・地域保健科にて2名が病棟実習を行った。

一方で、ワシントン大学医学部からは第3学年次学生1名の受け入れを行い、平成27年6月22日（月）から7月10日（金）まで、小児科にて実習を行った。

また、ワシントン大学医学部では、平成27年8月8日（土）から8月15日（土）まで、社会福祉法人枚方療育園の支援を受け、本学第5学年次学生8名が生命倫理の講義や病院見学に参加した。

○ 補助金

(1) 平成27年度科学研究費助成事業（文部科学省・日本学術振興会）

研究種目名	件数	経費		総交付額	
		直接経費	間接経費		
基盤研究（B）	12	37,900,000	11,370,000	49,270,000	
基盤研究（C）	89	103,642,110	31,092,633	134,734,743	
挑戦的萌芽研究	8	9,700,000	2,910,000	12,610,000	
新学術領域研究	1	4,000,000	1,200,000	5,200,000	
若手研究（B）	27	34,462,745	10,080,000	44,542,745	
奨励研究	7	3,500,000	0	3,500,000	
計	144	193,204,855	56,652,633	249,857,488	
(参考)	平成26年度合計	131	208,380,000	61,560,000	269,940,000
	平成25年度合計	144	236,500,000	69,900,000	306,400,000

(2) 平成 27 年度厚生労働科学研究費（厚生労働省）・日本医療研究開発機構研究費（AMED）

研究事業名	件数	経費		総交付額
		直接経費	間接経費	
地域医療基盤開発推進研究事業	1	2,975,000	149,000	3,124,000
難治性疾患等政策研究事業	1	744,000	222,000	966,000
次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム（AMED）	1	9,272,728	927,272	10,200,000
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業（AMED）	1	3,846,000	1,054,000	4,900,000
難治性疾患実用化（AMED）	1	7,605,385	2,281,615	9,887,000
計	5	24,443,113	4,633,887	29,077,000
(参考) 平成 26 年度合計	3	28,500,000	7,750,000	36,250,000

(3) 平成 27 年度エコチル調査委託事業精算金（環境省）

環境省委託事業名	件数	経費		総交付額
		直接経費	一般管理費	
エコチル調査	1	76,153,412	11,216,936	87,370,348
計（見込）		76,153,412	11,216,936	87,370,348
(参考) 平成 26 年度合計	1	89,761,271	12,727,375	102,488,646

(4) 平成 27 年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン補助金分配金（文部科学省）

研究事業名	件数	経費		本学分配額
		各部署配分額	事務経費	
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	5,421,000	1,767,000	7,188,000
計		5,421,000	1,767,000	7,188,000
(参考) 平成 26 年度合計	1	3,630,000	4,475,000	8,105,000

《兵庫医科大学病院》

○ 患者数

			対前年度
入院患者数	延患者数（在院＋退院）	303,287 人	98.9%
	1 日平均	828.7 人	98.7%
	平均在院日数（一般）	11.8 日	△0.5 日
	平均在院日数（全体）	12.3 日	△0.4 日
外来患者数	延患者数	653,120 人	100.5%
	1 日平均	2,419.0 人	100.2%

○ 平成 27 年度兵庫医科大学病院防災訓練

平成 27 年 9 月 18 日（金）に休日日勤帯のマンパワーが少ない体制で多数の負傷者が急性医療総合センターに搬送された場合を想定し、災害拠点病院として、局地災害が発生した場合の当院受入体制の訓練を行うとともに、現行の診療環境（急性医療総合センター・電子カルテ等）の検証を行うことを目的とした防災訓練を実施した。医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員、医学部学生（4 年生）約 200 名が参加した。

○ 国際規格 ISO15189 : 2012 受審（臨床検査室—品質と能力に関する特定要求事項）

平成 27 年 11 月 25 日（水）～27 日（金）の 3 日間で、採血、生化学免疫検査、血液一般検査、微生物検査、生理検査、超音波検査、輸血検査について日本適合性認定協会の審査員 5 名による訪問審査を受けた。そして平成 28 年 2 月 24 日の臨床検査室認定委員会の審議を経て国際規格としての認定を受けた。このことにより本学の臨床検査室は、検査が正しく行われるための仕組み（マネジメントシステム）と正しい検査結果を出す技術・能力が国際的な基準を満たしているということが認定された。これまでの審査を受けたすべての施設の中で本学の評価はその時点において全国で最も高い評価であった。

○ 市民健康講座

平成 27 年度実施の市民健康講座は次の通り。

平成27年度 市民健康講座

講演日	講演者			テーマ	参加者数
4月22日	糖尿病・内分泌・代謝内科	医 師	勝野 朋幸	最近の糖尿病治療	63名
5月13日	眼科	医 師	細谷 友雅	ドライアイ治療最前線	43名
5月27日	精神科神経科	医 師	宇和 典子	認知症～正しい知識と理解～	98名
6月10日	形成外科	医 師	藤田 和敏	乳房再建について～乳房再建の方法と実際	20名
6月24日	消化管内科	医 師	池原 久朝	早期胃癌に対する内視鏡治療	49名
7月8日	臨床検査技術部	臨床 検査技師	山田 久美子	食中毒の原因とその予防	33名
7月29日	リウマチ・膠原病内科	医 師	関口 昌弘	関節のいたみ、はれは、どんな病気ですか？	64名
8月19日	泌尿器科	医 師	野鳥 道生	腎不全と腎移植	52名
9月2日	下部消化管外科	医 師	野田 雅史	直腸癌に対する括約筋温存術 ～人工肛門にならない為の手術～	47名
9月16日	糖尿病・内分泌・代謝内科	医 師	森脇 優司	痛風と高尿酸血症について～診断・治療と自己管理～	48名
10月7日	循環器内科	医 師	内藤 由朗	心筋梗塞を未然に防ぐ～高血圧は危険信号～	56名
10月21日	肝・胆・膵内科	医 師	岩田 恵典	膵臓の病気を疑ったら～膵疾患の診断から治療まで～	64名
11月18日	小児科	医 師	服部 益治	夜中の尿の悩み ～おねしょで起きない子供、頻尿で寝られない大人～	48名
12月2日	上部消化管外科	医 師	竹村 雅至	逆流性食道炎ってどんな病気～最近の外科的治療～	66名
1月13日	神経内科	医 師	團野 大介	頭痛の話～頭痛でお悩みの方へ～	50名
2月3日	麻酔科・疼痛制御科	医 師	廣瀬 宗孝	患者さんが知らない手術中のからだのふしぎ	57名
2月17日	肝・胆・膵内科	医 師	西川 浩樹	肝臓治療 ※肝疾患診療連携拠点病院事業	39名
3月2日	泌尿器科	医 師	鈴木 透	腎・前立腺ロボット手術～ダビンチ手術の実際～	60名
3月23日	臨床心理部	臨床 心理技師	吉田 賀一	不安や抑うつ気分とのつきあい方 ～認知行動療法の視点から～	80名

講演回数:19回 参加者総数: 1037名

○ 主な補助金

・ 救命救急センター運営補助金	94,562,000	円
・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（医科）	47,210,000	円
・ 臨床研修事業に係る国庫補助金（歯科）	3,177,000	円
・ 文部科学省大学改革推進等補助金		
・ 未来医療研究人材養成拠点形成事業	27,606,000	円
・ 課題解決型高度医療人材養成プログラム共同事業	862,360	円
・ 臓器移植コーディネーター委託費	5,354,000	円
・ 阪神南圏域（西宮市・芦屋市） リハビリテーション支援センター運営委託費	741,000	円
・ 肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金	2,605,000	円
・ がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	8,000,000	円
・ エイズ中核拠点病院業務委託費	178,000	円
・ エイズ診療従事者等研修委託費	114,000	円
・ 兵庫県認知症疾患医療センター運営委託費	3,620,000	円
・ 認知症地域医療連携体制強化事業補助金	3,464,000	円
・ 周産期母子医療センター運営費補助金	207,100	円
・ 産科医等育成・確保支援事業補助金	723,000	円
・ HIV感染者等保健福祉相談事業委託費	800,000	円
・ 周産期医療施設設備整備補助事業補助金	19,440,000	円
合 計	218,663,460	円

（平成 25 年度合計） 334,710,500 円

（平成 26 年度合計） 216,459,000 円

※平成 25 年度は文部科学省大学改革推進等補助金
（「周産期医療環境整備事業」「周産期医療施設設備整備事業」
「病院業務改善推進事業」）計 79,759,000 円有。

※平成 25 年度は臨床研修事業に係る国庫補助金（医科）が
77,518,000 円で平成 27 年度は、概ね 3,000 万円の減。

《ささやま医療センター・ささやま老人保健施設》

○ 患者数

1) ささやま医療センター

入院患者数	51,548 人	(延数)
〃 一日平均	140.8 人	
外来患者数	73,951 人	(延数)
〃 一日平均	303.1 人	

2) ささやま老人保健施設

入 所	29,513 人	(延数)
〃 一日平均	80.6 人	
短期入所	4,544 人	(延数)
〃 一日平均	12.4 人	
通 所	9,558 人	(延数)
通所リハビリ 一日平均	39.4 人	
予防通所	2,831 人	(延数)
〃 一日平均	11.7 人	

○ 居宅サービスセンターの設置並びに訪問看護ステーション「デカンショ」・訪問介護ステーション

「デカンショ」開設地域に根差した法人として、厚生労働省が掲げている「包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)」の構築・推進の一端を担うべく、訪問看護ステーションを1月、訪問介護ステーションを3月に開設した。

○ 市民ふれあい健康教室

ささやまキャンパスBSC(バランスト・スコアカード)の4つの視点の内、顧客の視点により目標とした公開講座の企画・実施について、「市民ふれあい健康教室」と題して昨年度より開始し、今年度は4回開催して、事前予約も含め多数の参加があった。

・第3回 平成27年4月17日(金)

テーマ「飲み込みの障害について」講演者：和田 陽介助教

・第4回 平成27年5月20日(水)

テーマ「骨密度検査(DXA)について」講演者：野垣 幸男副主任技師

「マンモグラフィ検診について」講演者：時本 久代診療放射線技師

・第5回 平成27年8月24日(月)

テーマ「ロコモティブシンドローム～予防の為に体操と生活について」

講演者：日下 真由美作業療法士

・第6回 平成27年11月25日(水)

テーマ「CT検査でわかること～検査の前処置について」

講演者：安平 浩二診療放射線技師

「MRI検査ってなあに？」

講演者：杉田 敏幸副主任技師

○ JR西日本主催列車事故救済合同訓練への参加

平成 27 年 12 月 8 日（火）、JR 西日本主催による「列車事故お客様救済合同訓練」に、篠山警察署、篠山消防署などとともに、ささやま医療センターから医師 4 名、看護師 2 名、事務員 2 名が参加した。JR 福知山線古市・南矢代駅間において立ち往生していた大型トラックに快速電車が衝突し、多数の負傷者が車内に閉じ込められたという想定で、篠山地区の関係機関が緊密に連携を取り、人命を最優先にした迅速な初動対応及び対処能力の向上を図ることを目的に訓練が行われた。

《兵庫医療大学》

○ 平成 28 年度兵庫医療大学入学試験

平成 28 年度学生募集は、推薦入学試験（専願公募制・指定校推薦・公募制 A 日程・公募制 B 日程）、一般入学試験（前期 A 日程・前期日程・前期 B 日程・前期 C 日程・後期日程・大学入試センター試験利用入学試験前期日程・大学入試センター試験利用入学試験後期日程）を次のとおり実施した。

なお、平成 28 年度入学試験では、前年度に引き続き本学会場以外に学外会場を設けた入学試験を前期日程および前期 B 日程において実施した。志願者数は全学部で大阪会場 167 名、岡山会場 41 名であった。

1) 推薦入学試験（専願公募制）

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	20	25	10	13
出願者数	96	173	93	48
受験者数	96	172	93	48
合格者数	28	26	13	13
入学者数	27	26	13	13

2) 推薦入学試験（指定校推薦入学制度）

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	5
受験者数	5
合格者数	5
入学者数	5

3) 推薦入学試験（公募制 A 日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	15	10
出願者数	282	315
受験者数	279	314
合格者数	77	42
入学者数	18	22

4) 推薦入学試験（公募制 B 日程）

区分	薬学部
募集人員	10
出願者数	141
受験者数	138
合格者数	29
入学者数	22

5) 一般入学試験（前期 A 日程）

区分	薬学部	リハビリテーション学部	
		理学療法学科	作業療法学科
募集人員	35	20	17
出願者数	383	181	58
受験者数	380	180	57
合格者数	117	43	29
入学者数	29	21	18

6) 一般入学試験（前期日程）

区分	看護学部
募集人員	50
出願者数	430
受験者数	425
合格者数	126
入学者数	59

7) 一般入学試験（前期B日程）

区分	薬学部	リハビリテーション学部	
		理学療法学科	作業療法学科
募集人員	25	8	8
出願者数	237	143	54
受験者数	235	143	54
合格者数	70	25	25
入学者数	21	13	10

8) 一般入学試験（前期C日程）

区分	薬学部
募集人員	15
出願者数	161
受験者数	155
合格者数	26
入学者数	15

9) 一般入学試験（後期日程）

区分	薬学部	看護学部
募集人員	10	7
出願者数	159	73
受験者数	155	70
合格者数	32	8
入学者数	15	6

10) 大学入試センター試験利用入学試験前期日程

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	7	5	2	2
出願者数	29	59	35	16
受験者数	28	59	34	16
合格者数	7	13	9	5
入学者数	0	2	1	1

1 1) 大学入試センター試験利用入学試験後期日程

区分	薬学部	看護学部
募集人員	3	3
出願者数	2	10
受験者数	2	10
合格者数	1	3
入学者数	1	1

1 2) 合計

区分	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
			理学療法学科	作業療法学科
募集人員	150	100	40	40
出願者数	1495	1060	452	176
受験者数	1473	1050	450	175
合格者数	392	218	90	72
入学者数	153	116	48	42

○ 平成 28 年度兵庫医療大学大学院入学試験

平成 28 年度大学院入学試験を次のとおり実施した。

1. 入学試験 I 期（薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科	医療科学研究科
募集人員	3	8	8
出願者数	1	9	8
受験者数	1	9	8
合格者数	1	7	8
入学者数	1	7	8

2. 入学試験 II 期（薬学研究科、看護学研究科）

区分	薬学研究科	看護学研究科
募集人員	若干名	若干名
出願者数	2	1
受験者数	2	1
合格者数	2	0
入学者数	2	0

○ 国家試験

第 101 回 薬剤師国家試験

区 分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	102	44	43.1	119	85	71.4
本学 (平成 26 年度)	96	60	62.5	125	70	56.0
本学 (平成 25 年度)	117	60	51.3	59	26	44.1
全 国	8,242	7,108	86.2	6,185	4,201	67.9

第 105 回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	98	97	98.9	1	1	100.0
本学 (平成 26 年度)	98	98	100.0			
本学 (平成 25 年度)	101	101	100.0			
全 国	56,414	53,547	94.9	5,740	2,038	35.5

第 102 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	36	36	100.0	1	1	100.0
本学 (平成 26 年度)	98	98	100.0	2	2	100.0
本学 (平成 25 年度)	101	97	96.0	2	0	0.0
全 国	8,295	7,684	92.6	504	217	43.1

第 99 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	9	9	100.0			
本学 (平成 26 年度)	8	8	100.0			
本学 (平成 25 年度)	7	6	85.7			
全 国	2,000	1,995	99.8	8	8	100

第 51 回 理学療法士国家試験

区分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	41	40	97.6	1	1	100.0
本学 (平成 26 年度)	46	45	97.8			
本学 (平成 25 年度)	45	45	100.0			
全 国	10,562	8,662	82.0	1,953	610	31.2

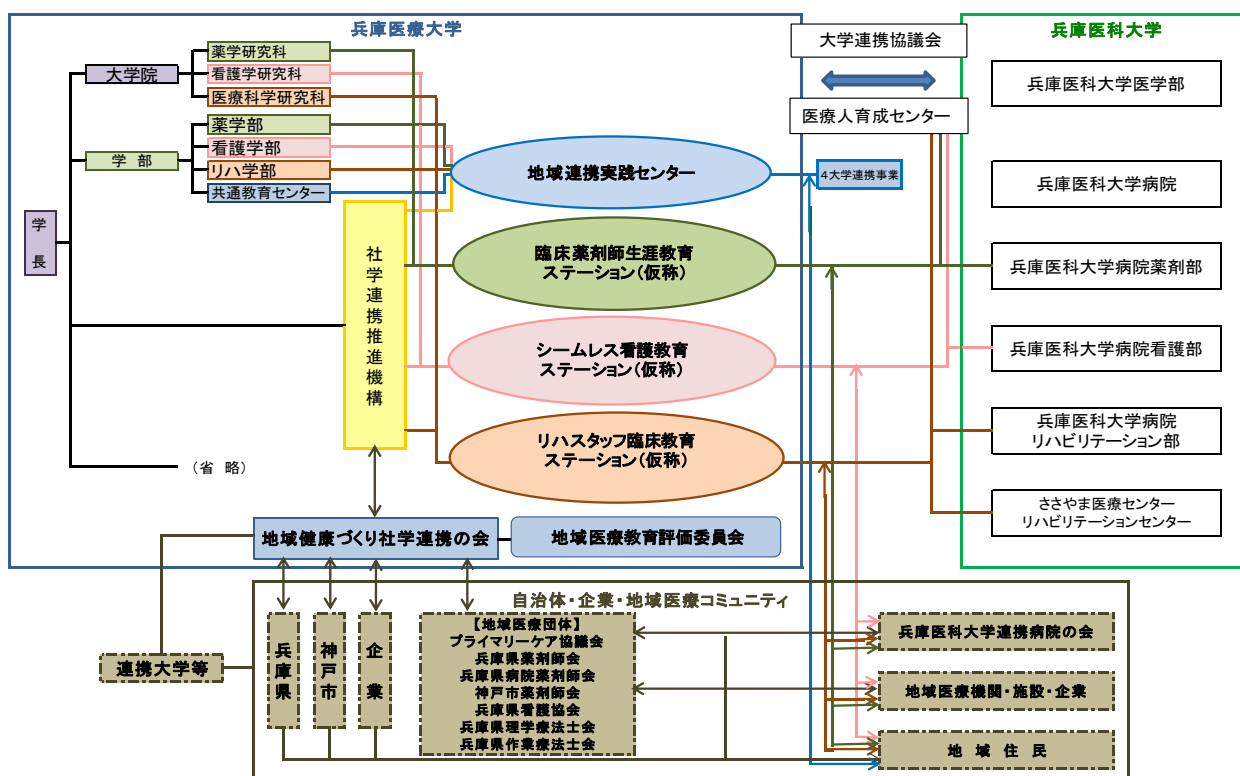
第 51 回 作業療法士国家試験

区分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	47	46	97.9	4	3	75.0
本学 (平成 26 年度)	43	40	93.0	1	0	0
本学 (平成 25 年度)	39	38	97.4	2	2	100.0
全 国	5,004	4,711	94.1	1,098	633	57.7

○兵庫医療大学 社会学連携推進機構の設置

地域住民、地方自治体、公共団体、各種企業など、地域社会と医療総合大学である本学との連携活動におけるリエゾンとなるべく、「兵庫医療大学 社会学連携推進機構」を平成 27 年 4 月 1 日付で設置した。

<組織・機構図>



○ 職業実践力育成プログラム (BP) の設置認定 (所管：総務グループ)

文部科学省が社会人の学び直しを継続的・発展的に拡大していく仕組みとして設けた「職業実践力育成プログラム」(BP)に申請し、看護学研究科として「地域在宅看護実践力育成プログラム」、医療科学研究科として「課題研究コース」「PT・OT ステップアッププログラム」の3つのプログラムが設置認定された。平成28年度受講者は、「地域在宅看護実践力育成プログラム」として18名、「PT・OT ステップアッププログラム」は14名を予定している。

○ 補助金

1) 平成27年度科研費

(単位：千円)

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究 (B)		1	3,400	1,020	4,420
基盤研究 (C)		19	23,300	6,990	30,290
挑戦的萌芽研究		5	3,300	990	4,290
若手研究 (B)		10	11,900	3,570	15,470
計		35	41,900	12,570	54,470
(参考)	平成26年度合計	44	51,600	15,480	67,080
(参考)	平成25年度合計	56	61,000	18,300	79,300

Ⅲ 財務の概要

《概要》

1. 概要

平成27年度は、学校法人全体の経営基盤安定に向けた運営の改善、効率化により持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成とすることを基本方針としました。既存予算の見直しと効率化等により財源の捻出を図ることで、

- ① 西宮キャンパスグランドデザイン等の各種計画を着実に実行できる財務基盤の確立
- ② 新教育研究棟の建設着工
- ③ 健康医学クリニックの開業とその運営計画の着実な履行
- ④ 急性医療総合センターの効率的運用により安定的な医療収入を確保し、法人全体の収支確保に寄与する
- ⑤ ささやま医療センターの運営改善に向けて制定した経営方針の着実な実行
- ⑥ 兵庫医療大学における自己点検に基づく更なる教育・研究の適正化、運営の効率化推進
- ⑦ 長期収支財務シミュレーションに基づく各部門の目標収支差額の堅持

という重点事項が掲げられ、当初予算がスタートしました。こうした中で、法人が今後計画している諸事業を実行していくためには、基本金組入前当年度収支差額を10億円

以上維持することが不可欠という従来からの考え方のもと、最終的に基本金組入前当年度収支差額13億円の予算案を決定しました。

このような方針の下、西宮本院では、収入面において、入院患者数は減少したものの診療単価増により入院収入は微増、外来収入は高額薬剤の処方により大幅増、経費面では医療材料費、業務委託費は減少しましたが、薬品費が大幅に増加した影響を受け、基本金組入前当年度収支差額は大幅な予算未達となりました。

また、ささやま医療センターは、赤字基調が続いているものの再生に向けた取組みにより赤字幅は縮小傾向にあります。こうした状況の中で、当年度より保留レセプトを医療収入に計上したこともあり、基本金組入前当年度収支差額は11.2億円のプラスになりましたが、予算比ではマイナス1.8億円となりました。

※ 財務情報（消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、財産目録）については、ホームページの「情報の公表」の事業報告書・財務諸表の財務諸表をご参照ください。

http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement/

以上

平成27年8月1日
総務部 総務課